

# 日本ヒーブ協議会の活動と ポジティブ・アクションでの取組み

2011.9.15

一般社団法人 日本ヒーブ協議会  
代表理事 高野 逸子



◆ **生活者と企業のパイプ役として企業の消費者関連部門で働く女性の団体**

◆ **1978年 設立**

(東京本部1978年 関西支部1984年 九州支部1994年)

◆ **会員 102社 正会員127名**

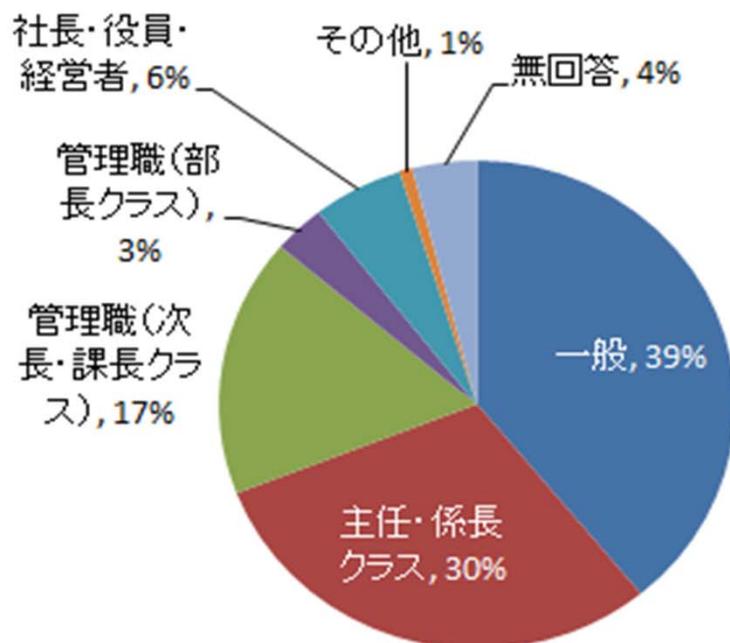
**業種:食品、化学、電機、繊維、自動車、金融、流通、公益、マスコミ等**

**職種:消費者対応、消費者教育、広報、商品開発、品質管理、CSR等**

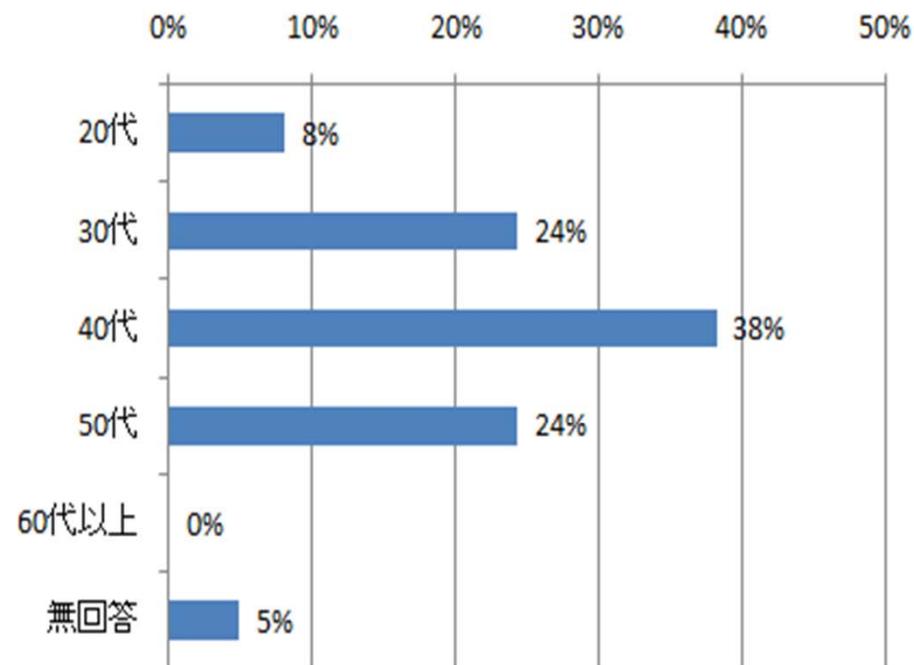
\*ヒーブの語源は、アメリカ家政学会の分科会HEIB

(Home Economists in Business 企業内家政学士)

## 会員の役職

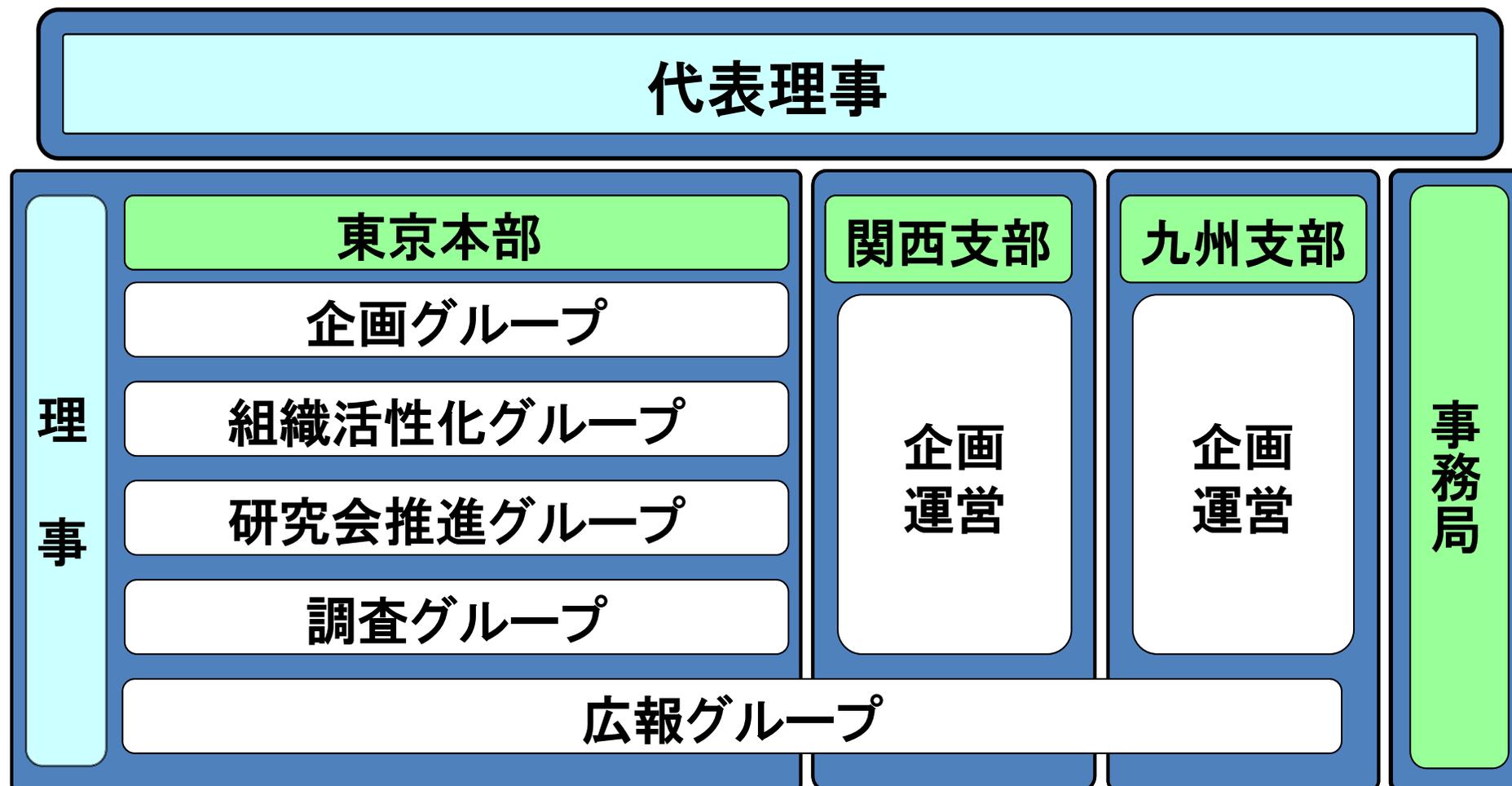


## 会員の年齢



日本ヒーブ協議会では、管理職は26%

# 日本ヒーブ協議会 組織運営体制



会員全員が運営グループに参加し、運営をサポート

## <使命>

生活者と企業の双方を理解し、新しい価値を創造・提供することで生活者の利益および企業の健全な発展に寄与する

## <活動基本方針>

会員の能力向上  
および資質の向上



- ・月例研究会での講演
- ・分科会活動での研究など

社会への情報発信



- ・広報活動
- ・研究成果発表
- ・調査活動 など

- ◆ 年間活動テーマに基づき、有識者、企業の経営者、行政、消費者団体などを講師として、講演会を実施。

## <2011年度講演会(東京)の一部>

2011年 4月	<b>総会・公開講演会</b> 「日本経済の活路～消費者起点が改革のカギ～」 講師:政策研究大学院大学 教授 大田 弘子氏
2011年 5月	<b>私の仕事とキャリア</b> 講師:当協議会員から4名を選定
2011年 6月	<b>製品の安心・安全について</b> 講師:独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) 製品安全センター 技術業務課長 川野 和弘氏
2011年 7月	<b>お客様相談室のCS向上への取組み</b> 講師:小林製薬株式会社 品質保証室 お客様相談室 室長 村上 直紀氏



月例研究会の様子

## ◆ 会員の自主参加型の研究活動

<2011年度活動テーマ(東京)>

### ① 啓発活動のあり方を考える

今の生活者に必要な情報を探り消費者啓発に活かす。

### ② 生活者と企業のギャップを探る

誤使用やトラブルが何故生じるのか、その原因を様々な側面から探り、企業の商品・サービスの開発や情報提供に活かす。

### ③ お客様対応を考える

お客様対応のあり方等を情報交換し、企業活動に活かす。

### ④ 安心・安全を考える

商品やサービスの安心・安全の情報提供の方法や課題などを探り、企業活動に活かす。

### ⑤ 働く女性と生活に関する調査・提言

働く女性に関する各種調査活動を通じて、社会への提言活動を行う。

## ◆ 日本ヒーブ協議会の活動を社会に紹介

- ・機関紙「レポートヒーブ」(年2回)
- ・パンフレット「What is HEIB?」
- ・ホームページ
- ・プレスリリースの発行 など



## ◆ ヒーブの知識を活用した、生活講習や講演の実施

- ・消費生活センターへの講師派遣
- ・各種団体での講演
- ・大学でのセミナー など



## ◆「情報カード」を活用した 消費者への情報発信



企業によく寄せられる  
お客様相談事例に対し、  
生活力アップに役立つ情報を収集



生活力アップ豆知識 vol.1

意外に知られていない化粧品の期限や保管方法、あなたはご存知ですか？

化粧品は腐らないもの？【化粧品の有効期限】  
化粧品にも有効期限があります。未開封の化粧品は品質が変わらないように作られていますが、開封後に長期使用せずに置いておく保存状態によっては変質してしまふことがあります。

化粧品は、事業者により「製造後、3年以内に変質するもの」に対して有効期限の表示が義務づけられていますが、「未開封の状態でも製造後3年以上の期間の安定性を保つもの」には、有効期限表示はしなくてもよいと定められています。

開封した化粧品の保管方法  
基本的には、一度開封した化粧品にはカビや菌類の危険性がありますので、使用途中での保管はおすすめ出来ません。やむを得ない場合には次の点に注意し保管しましょう。

- ①容器の口元を清潔なティッシュなどできれいにふき取り、キャップやフタをきちんとしめてください。（コットンでふき取ると、繊維が混入することがあるので避けてください。）
- ②直射日光の出たる場所を避けてください。
- ③高温・多湿・温度変化の激しい場所を避けてください。

使いかけの化粧品を使うときの確認方法  
開封した使いかけの化粧品を、時間を置いて使う時は、次の点を確認しようで使しましょう。

- ①分離、軟化、油浮きといった、状態の変化がないか
- ②透明だったものが濁っている、白かったものが褐色になっている等、色の変化がないか
- ③においが変わっていないか

もし何らかの異常を感じた場合には、変質していることが考えられるので、使用は避けてください。

(参考)消費生活 消費者窓口 よい生活のために(品質と保管)

一般社団法人 日本ヒープ協議会

当協議会は、企業等の消費者相談部門などに働きかけ、生活者や企業の悩みに応じてよい情報を提供する。その際方向性を定めた1978年に設立された。現在、食品・化学・電気・交通・金融・マックス等、企業の消費者対応・消費者教育・広報・商品開発・営業・品質管理・CSR部門などの多様な業務に携わる女性たちが集い、異業種交流の輪を広げながら、情報や意見の交換を行っています。

東京の他、関西・九州に支部をもち、2010年4月現在、賛助企業29社、企業が所属する企業114社、正会員145名が消費者や社会を通じて、企業と生活者の信頼関係を構築に向けて活動しています。

<http://www.heib.jp/>



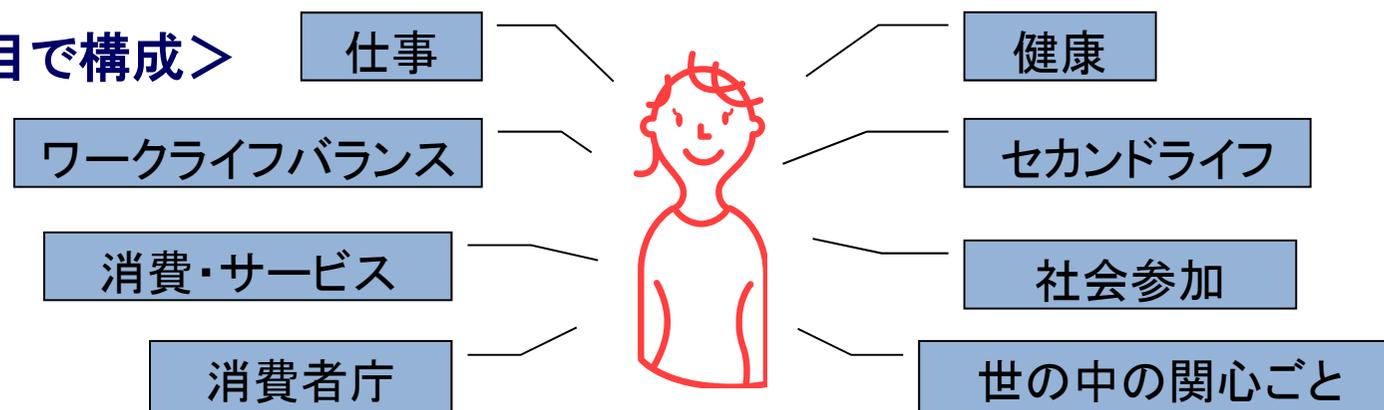
生活者にわかりやすい表現にリライトして、  
関西消費者協会発行の「消費者情報」に連載

## ◆「働く女性と暮らしの調査」定点調査

フルタイムで働く女性たちの仕事や生活の実情や意識の変化を定点観測。企業の変化の中で働く女性の課題を明確にし、問題提起と改善策の提案を行う。

第1回	高度情報社会との接点を求めて	1985年
第2回	働く女性の生活価値観	1990年
第3回	働く女性の生活と仕事の価値観	1994年
第4回	働く女性の描くライフデザイン	1997年
第5回	働く女性が感じる不安と価値観	2000年
第6回	女性が働き続ける社会に向けて	2003年
第7回	女性が生き生きと働き続けるために	2006年
第8回	女性が前向きに働き続けるために	2010年

＜第8回は 8項目で構成＞



## 働く理由は、「生計を維持するため」

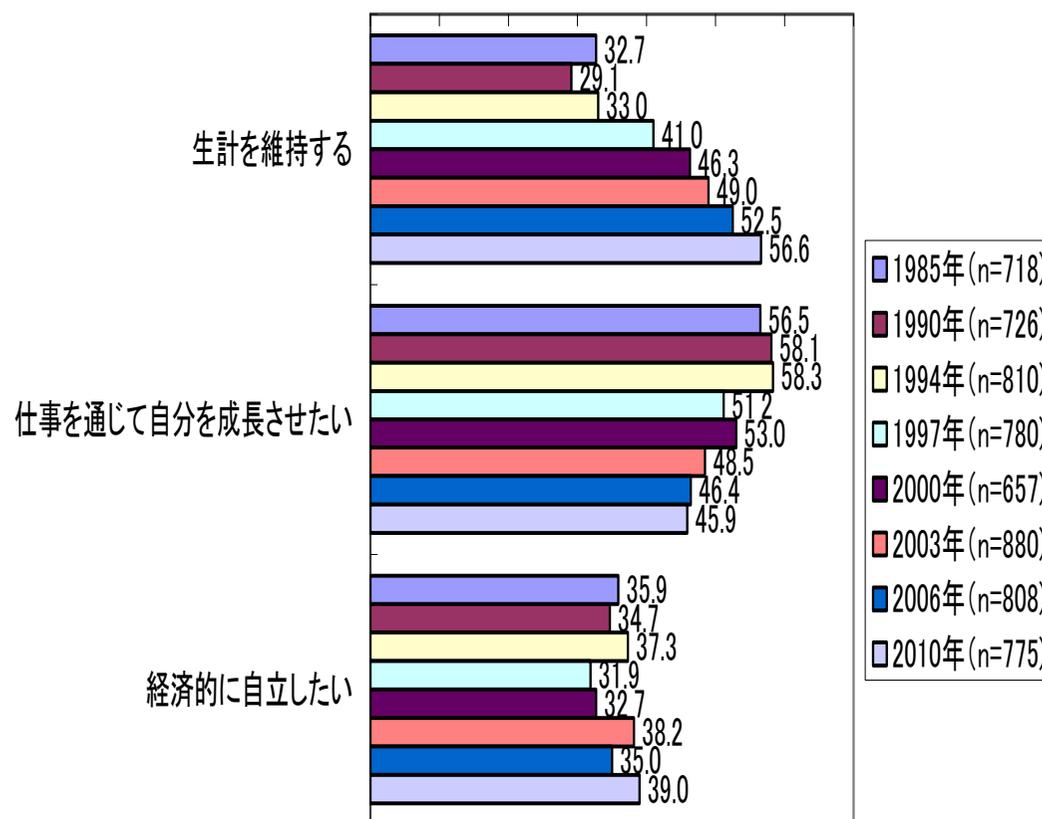
仕事をする理由の上位3項目(3つまでの複数回答、%)

0 10 20 30 40 50 60 70 (%)

働く理由は、「生計を維持する」が増加の傾向にあり、第7回(2006年)に初めて回答者の半数を超えた。

一方、「仕事を通じて自分を成長させたい」は、減少傾向ではあるが、依然として4割強が選択している。

「経済的に自立したい」については微増の傾向が見られた。

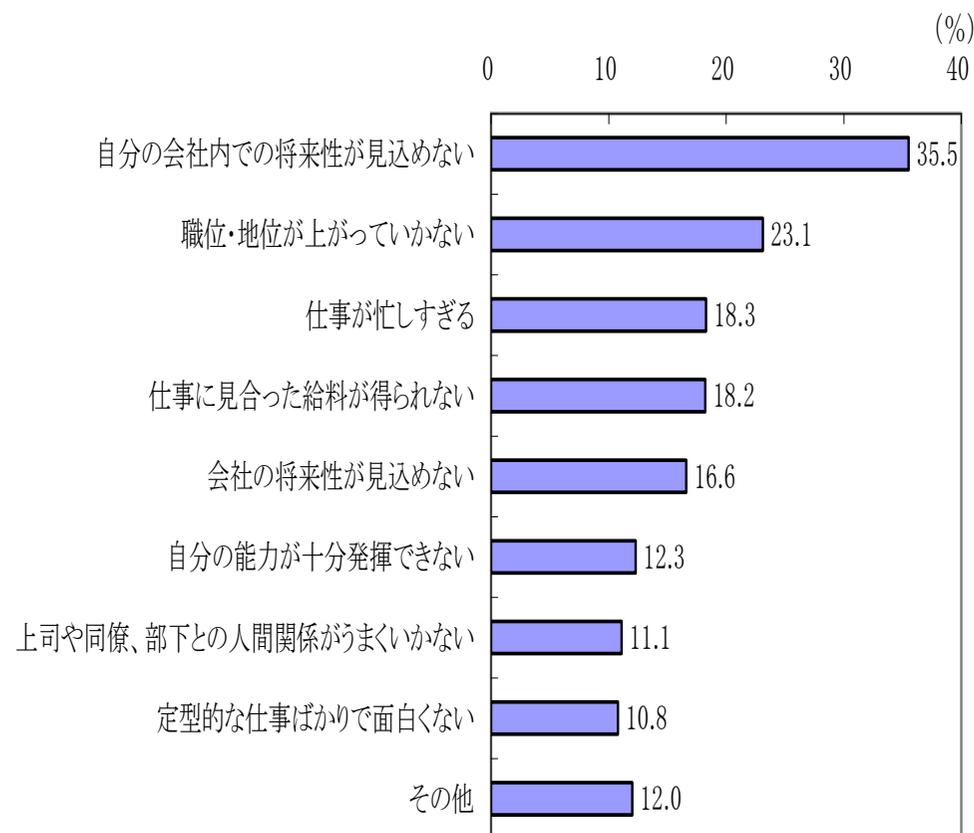


## 不満は、「将来性が見込めないこと」

仕事への不満として最も高かったのは「自分の会社内での将来性が見込めない(35.5%)」で、次いで「職位・地位が上がっていかない(23.1%)」となっている。

年代別では、30歳代前半で「自分の会社内での将来性が見込めない(44.7%)」が最も高く、50歳代前では「職位・地位が上がっていかない(39.2%)」「自分の能力が十分発揮できない(21.6%)」が高い傾向となっている。

仕事面での不満 (複数回答)



# ポジティブ・アクションでの取り組み

## ◆ 狙い

2011年度の活動テーマである「日本ヒーブ協議会の原点再考」—生活者・行政・企業のさらなる『連携と協働』を目指して—を踏まえ、年間を通じ以下の活動に取り組む。

- ①異業種交流の特徴を活かし、他企業の様々なロールモデルと接する機会をより積極的に創出し、会員の意識改革を図る。
- ②「生活者と企業」に関わる様々な課題を通じ、会員自身がより良いサービスや新たな価値を創造し提供していく仕事の仕方や価値観を学ぶ。

2011年 5月	<b>私の仕事とキャリア</b> 講師: 当協議会員から4名を選定
2011年 9月	<b>キャリアアップセミナーを予定</b> 講師: キャリアカウンセラー 株式会社エトス代表取締役社長 門田 由貴子氏



5月キャリアアップセミナー

# キャリアアップセミナー 内閣府共催プロジェクト



## 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

共催： 内閣府 男女共同参画局

名称：「キャリアアップセミナー」

日時： 平成23年12月5日(月)13:30～18:45

場所： アイビーホール(青学会館)

内容：

### ◆第一部 基調講演

「生活者視点を経営戦略に活かすためには」(仮称)

<講師> シャープ株式会社

執行役員 オンリーワン商品・デザイン本部長 兼ブランド戦略推進本部長

岡田 圭子 氏 (元日本ヒーブ協議会 会員)

# キャリアアップセミナー 内閣府共催プロジェクト



## ◆ 第二部 パネルディスカッション

「女性が生き生きと仕事をするために」

—女性の活躍の場をつくる取組み事例から学ぶ—(仮称)

＜パネル＞

- ・内閣府 男女共同参画局 ご担当者様
- ・日本ハム株式会社(日本ヒーブ協議会 賛助会員企業)  
人事部 部長 平井 邦治 氏
- ・NPO法人ファザーリング・ジャパン  
代表 安藤 哲也 氏(内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員)
- ・ライオン株式会社 生活者行動研究所  
主任研究員 杉本 美穂(日本ヒーブ協議会 会員)  
平成23年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」受賞

＜コーディネーター＞

- ・NPO法人J-Win  
広報担当部長 山本 加津子(日本ヒーブ協議会 特別会員)

## ◆ 第三部 情報交換会

**ご清聴ありがとうございました**